

2018年4月2日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

2018年度野村グループ入社式、永井浩二グループCEO訓話要旨

入社おめでとうございます。グループを代表して、皆さんを心より歓迎します。

野村グループには、世界中で働く多くの社員がおり、その国籍は七十数カ国に及びます。これらの多様な人材は野村グループ最大の財産です。さまざまな個性を持つ人材が互いに認め合い、協働する、ダイバーシティが野村の活力です。また、野村には昔から「キープヤング」という伝統が息づいています。意欲ある社員には年齢に関係なく責任ある仕事を任せる、野村はそういう会社です。皆さんも今日から、自身の力をこの野村という大きなステージで思う存分発揮していただきたいと思います。

皆さんが野村の一員となるにあたり、これまで野村が大切にしてきたこと、そして、これから皆さんに望むことについてお話しします。

大阪で創業し、戦後になって東京に進出した野村は、東京では後発の一証券業者に過ぎませんでした。そうした中で我々の先輩が「顧客第一主義」、すなわち「すべてはお客様のために」という基本観のもと、「明日は今日より成長しよう」という「あすなる精神」、いわば「チャレンジング・スピリッツ」を持って、さまざまなイノベーションに挑戦し、その積み重ねを経て今日の姿に至ったのです。我々が今まで大切にしてきたのは、こうした「変革と挑戦」の精神です。

今、世界は新たな局面に入りつつあります。ポリセントリック、つまり各国が自国優先の考えを前面に押し出す時代の到来が予感され、経済の覇権も南のエマージング諸国に移っていくことが確実視されています。さらに、AIなどデジタルイノベーションの進展により、今後、人々の生活や行動様式は大きく変化していくでしょう。皆さんの、社会人としてのこれからの30～40年は、従来の価値観が通用せず、先行きも見通しにくい「不確実性の時代」になると考えられます。

時代は我々の予想を超えて変化していきます。そこにおいて大切なことは、決して現状に甘んじることなく、そして臆することなく、自らの変革に果敢に挑戦をしていくことです。今日の良き日を迎えた皆さん、大企業に入ったと安心せず、「すべてはお客様のために」という基本観をしっかりと胸に刻み、「あすなる精神」を持って、ともに「“今”以上の“未来”」を作り上げていきましょう。

以上